

# 2018.7.20~24 ICU（国際基督教大学）サービ斯拉ーニングの受け入れを実施しました。

◆サービス・ラーニングとは、学生が自発的な意思に基づいて、一定期間無償で社会奉仕（サービス）活動に従事し、「大学での学びを社会に還元し」、「社会での体験を通して知識や理解をより深め」、「それを個々の学習活動（ラーニング）に活かす」という、実践型・循環型の教育プログラムです。

（ICUホームページより）

◆天龍村では3年前よりこのプロジェクトに参加させていただき、国内外の学生らの受け入れを行っています。約1ヶ月のプログラムのうち、4泊5日で天龍村に滞在しました。

◆初日は村の方から飯田線の歴史を学び、翌日からは坂部地区に入り、地区の伝統行事についてや地域の方との交流を深めました。締めくくりは村内の各家にホームステイをし、最終日は滞在した間に行ったことや感じたことを学生たちがホストファミリーなどに披露されていました。

◆協力者の方からは「環境や文化、生活習慣さらには言語が違っていても、気持ちは通じると感じた。」や、ホストファミリーとして学生を受け入れた家族の方からは、「1泊では物足りずもっとじっくりと滞在をしてほしかった。」など、学生が天龍村で得たものがあるように、ホストファミリーも学生たちから多くのことを経験することができた印象でした。

◆学生らはその後、プログラムの報告会をICUで行い、それぞれの印象を発表しました。なかでも、“Not always need physical effort but your mere presence can be service in itself.”（≒居てくれることだけでも励みになる）というフレーズが印象的でした。受け入れ側としては「来てくれることへの歓迎」をしっかりと受けとめてくれたことで、互いにいい刺激を得られたプログラムでした。

